

平成 19 年度第 1 回理事会抄録

日時：平成 19 年 5 月 19 日（土） 13：00～17：25

場所：（社）日本作業療法士協会事務所 10 階会議室

出席：杉原（会長）、中村、山根（副会長）、荻原（事務局長）、富岡古川、長谷川（監事）、岩瀬、太田、小林（正）、香山、鶴見、早川（宏）、比留間（常務理事）、大熊、大丸、片岡、糊澤、小林（毅）、澤田、早川（昭）、日垣、三澤（理事）、石塚、陣内（部長）、毛束、土井、中里（委員長）、大瀧（士会連絡協議会長）

I. 審議事項

1. 専門作業療法士制度について（陣内生涯教育部長）第四次答申後の変更点についての説明。まずは領域(案)を 3 領域とし、取得要件 7 項目を 2 項目に集約、構造図もシンプルにした。これに対し、領域認定のための審査基準をどう定めるのか、カリキュラムを認定するときの協会のスタンス、基本の条件は何か、5 つの水準の③以降、特に④のリーダーシップは記載の必要はない。新たな専門領域の申請の方式、診療報酬に特化するような制度を将来考えるべき等の意見。今回の意見を踏まえ、修正を加えながら準備を進めるということで、大枠で承認される。 →承認

2. 能登半島地震による被災会員の平成 19 年度会費免除について（荻原事務局長）石川県士会長より状況報告。石川県 2 名、富山県 1 名の会費免除申請が承認される。 →承認

3. 認定作業療法士の認定申請・更新申請について（荻原事務局長）18 年度 1 名の申請と 2 名の更新申請が承認される。 →承認

4. 平成 20 年度課題研究助成制度の募集について（澤田学術部担当理事）募集要領を応募しやすいように改善。著作権の問題について意見が出されたが、大枠この提案要領で進める。 →承認

5. 次期診療報酬改定要望（案）について（太田、糊澤保険部担当理事）施設基準 I と II の格差の是正、急性期リハビリテーションに作業療法を普及することを基本方針とし、呼吸器疾患、心大血管に OT が関われるよう要望。精神科は現行 220 点を 110 点、現行 2 時間を 60 分、患者数 12 人を 1 単位とし 4 単位を標準とする。その他、退院加算、リハビリテーション実施計画料を要望する。この案に対し、仮に要望案の規定を現場に適用した場合、実際の取扱人数やその経済性、などがどのような状況になるかの想定を含めて、保険部と精神障害問題担当理事との間で早急に調整することとなる。

「認知症支援体制と作業療法の役割」のシステムを保健福祉部、保険部、生涯教育部、認知症担当理事を担当とし、9 月作成を目指すことを確認。 →承認

6. 規約の整備について（土井規約委員長）①機関誌編集委員会規程（改定）②学会運営の手引き（改定）③大規模災害を被った都道府

県における作業療法士会の支援に関する規程（案）③の初期対応支援金について議論。また、数箇所文言修正の上、承認される。→承認

7.第 42 回総会のタイムスケジュール（案）について（中里総会議運委員長）議長・奥村好誠氏、副議長・矢野亮一氏、議事録署名人・田平隆行氏、西村英朗氏に内諾済み。事業報告の持ち時間指定の要望がされる。また委任状回収方法についての議論があった。→承認

8.会員の入退会について（荻原事務局長）3月31日付退会者457名。5月15日付会員数2万9546名。賛助会員の退会は個人2名と1機関。リチャード・キャラカー氏より賛助会員へ申し込み。→承認

II.報告事項

1.平成18年度協会会計監査報告（古川監事）監査結果報告。未収入金の回収方策への対応、事業計画及び予算案は達成率を勘案されたい、出版・学術活動の方向性の検討等の意見が付される。

2.平成18年度決算（各部・各委員会の予算執行状況）について（石塚財務部長）収支計算書の達成率を来年度の予算作成の参考とされたい。42回総会議案書の決算報告等は財務諸表の形が変わる。

3.平成18年度課題研究の経過報告について（澤田学術部担当理事）2年間の研究の経過報告書が3通あがっている。報告書の体裁をわかりやすく整えたい。

4.作業療法士総合補償制度の一部改定及び保険代理店の事務処理報告について（日垣福利部担当理事）加入者の増加により上乘せプランの補償内容が拡大。代理店より郵便振込みの300円取りすぎ分は全員に返すとの報告。未収70名については対応を検討中。

5.渉外活動報告

1)呼吸器疾患作業療法について（中村副会長）4月27日日本医科大学の工藤教授を、呼吸器リハビリテーション料に作業療法の算定要件を追加する件で訪問。趣旨説明し、了解を得る。5月8日に3学会合同呼吸療法認定士認定委員会の場で作業療法を説明した。

2)JDD ネット理事会報告（三澤保健福祉部担当理事）4月7日に理事会があり、今年度の活動内容が決まる。

3)JICA（リハビリテーション医療関連プロジェクト）からの養成について（小林国際部担当理事）5月14日、JICA職員が来所。JICA医療リハ小委員会に協会代表が参画し、窓口となることを要請される。

4)（香山精神障害問題担当理事）4月6日、診療報酬改定に向けての話し合いを日本精神保健福祉士協会と行う。同日、日本精神科病院協会の看護・コメディカル委員会に招かれ、今後の作業療法の展開について意見交換。その後、厚労省鷲見課長補佐と診療報酬につい

て状況説明。厚労省の研究プロジェクトへの参加を検討、申請した。

5) (大熊機器問題担当理事) 4月22日、日本車いすシーティング協会の設立総会、懇親会に出席。

6. 広報部活動報告 (榎澤広報部担当理事) ①精神障害の広報ビデオは19日に最終の編集作業に入る。②「オペラ」は学会時に発行する。③会員に向け、協会ニュースについてのアンケートを学会時に実施する。④日本ドリコム進学相談会はすでに4都市で終了。

7. その他 (中村副会長) 国民医療推進協議会全国大会に出席。

(杉原会長) 政策協定した中西氏の「21世紀の医療と福祉を支える会」より会員宛にグッズが配られる予定。

以上